
夕焼け空の帰り道

karinko

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夕焼け空の帰り道

【コード】

N9971G

【作者名】

karinko

【あらすじ】

夕焼けに染められた空を見ながら、あなたと帰る帰り道。それは小さな幸せの時間。

今日は特別な日。

大好きなあなたと初めて一緒に下校する日。

恥ずかしくて、何も話せなかった。

沈黙が続く。

人通りが少なくなってきた

本当に2人つきりになった道。

ふいにあなたが口を開いた。

「…手、つなぐか？」

びっくりしてあなたの顔を見上げる。

その顔が朱に染まっているように見えたのは夕日のせいか。

小さくうなずいてそっと手をさしだす。

私の小さな手が、あなたの大きな手に包まれる。

あなたの体温が伝わってきて心臓の音が大きくなった。

緊張して、恥ずかしくって顔に熱がのぼる。

こんな気持ちになっているのは私だけ？

ふと思っあなたの方をしてみるけれど

すべてがオレンジ色に染められている道にまぎれて

頬の赤みがわからない。

私達しかいない道は静まりかえっているのに、

あなたの心臓の音は聞こえない。

けれどきつとあなたも同じ気持ちのはず。

いつもは元気いっぱいでおしゃべりなあなたも、

無口になっているから。

照れ隠しをするようにあなたが空を見上げた。

つられて私も空を見上げる。

半分だけ顔をだした、

きれいなオレンジ色の夕日。

「夕日、きれいだな。」

「…そうだね。」

夕焼けでオレンジ色に染まる空。

となりにあなたは。

ぎゅっと握りしめた手。

夕焼けが2人の頬を染める。

あったかくて、幸せな時間。

(後書き)

) 好きな人と帰る道が夕焼けに染まっていたらロマンチックですよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9971g/>

夕焼け空の帰り道

2010年10月17日06時45分発行